

菅山小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月27日、菅山農業就業改善センターにて、菅山小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、策定委員会が提案した市内に2校をつくるという案に基本的には賛成であるが、新しい学校は菅山地区へどうかという声が聞かれました。また、「これからの親世代の意見交換会の場、若い親御さん世代の意見交換会の場が欲しい」という意見もありました。

質問としては、通学方法や学校の立地場所のほか「小中一貫教育について、いじめは大丈夫か」というものがありました。いじめについては、小中一貫校にすることで中3生が最高学年という自覚を持ち、下級生に優しくなって落ち着くという研究結果が出ており、視察に行った先進的な取り組みをしている学校でも、同様の効果が見られたということも回答しました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



ファシリテーターによる進行



意見交換の様子